

令和5年度（2023年度）第1回北海道障がい者就労支援推進委員会

開催概要

日時：令和5年（2023年）7月27日（木）15:00～17:00

場所：かでの2. 7（470研修室）及びオンライン（Zoom）開催

1 開会

2 挨拶

3 委員紹介

- 北海道社会福祉協議会 富田委員
- 厚生労働省北海道労働局 三上委員

4 報告

(1) 関係機関における今年度の取組状況

- 資料1-1 北海道労働局
- 資料1-2 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（資料紹介）
- 資料1-3 札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課
- 資料1-4 経済部労働政策局雇用労政課
- 資料1-5 経済部労働政策局産業人材課
- 資料1-6 教育庁学校教育局特別支援教育課
- 資料1-7 保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

(2) 障がい者就業・生活支援センターのあり方について

- 資料1 障がい者就業・生活支援センターについて
- 資料2 障がい者就業・生活支援センター設置に関するアンケート結果

【主な意見と回答】

（高谷委員）

- 障がい者就業・生活支援センターの抱える業務と未設置圏域へのセンター設置について（事務局）

- 複数圏域を抱えるセンターもあることから、どの地域を優先するかという視点からも精査して検討していきたい。

5 協議事項

(1) 「第3期北海道障がい者基本計画・第7期北海道障がい福祉計画」の基本的な考え方について

- 資料3 第3期北海道障がい者基本計画・第7期北海道障がい福祉計画」の基本的な考え方について

(おも ないよう)

【主な内容】

- 計画の基本的な考え方について説明した後、「就労支援施策の充実・強化」について、計画素案の検討のための意見をいただいた。

(おも いけん かいどう)

【主な意見と回答】

(近藤委員)

- 働く場と働く人をつなぐマッチングの重要性について

(事務局)

- 働く場の確保とともに、マッチングについても、実効性のある政策として盛り込んでいきたいと考えている。引き続き提案をいただけるとありがたい。

(牧野委員)

- 就労支援は住む場所も重要なので、働く場と住居をセットで考えていただきたい。また、地域で人と仕事をつなぐ場があることが大切だと思う。

(事務局)

- 働く場と住居はセットで考えていきたい。また一つの町で解決できないことについては、複数の市町村や振興局単位で取り組む形をめざしていきたい。

(富田委員)

- いろいろな制度があっても利用方法がわからなければ入り口に立てない。制度をわかりやすくしていく必要があると思う

(事務局)

- 障がい者の方が利用しやすい制度であることが大切なので、わかりやすい制度につなげていきたい。

(今村委員)

- 人手不足の中、企業側が障害者を社会を支える存在として採用していくような機運の醸成が必要になると思う。そのためにも企業にわかりやすい制度が必要だと思う。

(事務局)

- 地域生活の基盤すべてが、就労にも繋がってくると思うので、いただいた意見等を生かして、具体的な施策に盛り込んでいきたい

6 その他

- 今後の日程について

7 閉会

<出席委員 15名>

【北海道障がい者就労支援推進委員】

会長	橋本 菊次郎	北海道医療大学看護福祉学部 准教授
委員	飴谷 由香	社会福祉法人札幌市社会自立センター 従業員
	石山 貴博	特定非営利活動法人精神障害者回復者クラブすみれ会 副理事長
	齋藤 徹	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会 理事
	近藤 尚也	北海道医療大学看護福祉学部 講師
	髙谷 さふみ	くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターふれん センター長
	富田 彰	社会福祉法人北海道社会福祉協議会 副局長
	今村 仁泰	稚内市職親会 会長
	織田 知里	一般社団法人北海道商工会議所連合会 総務係長
	佐々木 恵一	一般社団法人中小企業診断協会北海道 会員
	茂森 実	株式会社ほくでんアソシエ 代表取締役社長
	富田 訓司	一般社団法人北海道中 小企業家同友会札幌支部 全道障がい者問題委員会委員長
	児玉 哲寛	札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部 障がい福祉課 企画調整担当課長
	三上 元彦	厚生労働省北海道労働局 職業安定部 職業対策課長
	牧野 泰乘	宗教法人美教寺 住職